

こどもと地図 6年

地図 with 歴史の舞台

元寇防塁跡

福岡県の「元寇防塁跡」は、鎌倉時代、元からの襲来に備えるために築かれた防塁です。地図帳で見ると、元軍が出兵した朝鮮半島から近い、博多湾の沿岸に位置しています。場所を確認することで、歴史がより興味深いものになります。

元寇防塁(生の松原地区)



(上)元寇防塁(西新地区) (右上)元寇防塁(今津地区) (右下)元寇防塁(長垂地区)
(写真4点:福岡市)



地図帳p.35(令和5年検定済)p.37)

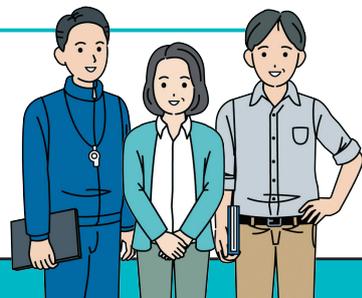
歴史の授業では、全国各地にある日本の歴史の舞台を学びます。児童にとっては遠い場所で起こった、初めて知る事柄ばかりで、戸惑うこともあるでしょう。歴史で学ぶ内容は、「どこで起こったか」に注目すると理解が深まります。例えば、福岡県の史跡「元寇防塁跡」を地図帳で見ることによって、鎌倉時代に起こった元軍の襲来について、イメージが膨らむでしょう。

地図帳p.35(令和5年検定済p.37、以下同)の福岡県の福岡湾・博多湾沿いに、2か所の元寇防塁跡が記されています。日本は1274(文永11)年に元からの襲来を受けた後、沿岸の約20kmにわたり、高さ2~3m、幅3mに及ぶ防塁を築き、続く1281(弘安4)年の元軍の上陸を阻止しました。

地図帳p.101~102(p.109~110)2「日本の昔の境界と世界文化遺産」の地図にも、元寇防塁跡が示されています。当時、元は朝鮮半島の高麗まで勢力を伸ばしており、朝鮮半島から出兵した元が目指したのは博多湾でした。地図帳p.29~30(p.31~32)やp.77~78(p.85~86)を活用すると、位置関係を捉えやすいでしょう。鎌倉よりもずっと近い、海の向こうの国から大軍が押し寄せてくる脅威が、防塁工事をはかどらせたと思像できます。また、元寇後、十分な恩賞が得られなかった御家人の竹崎季長が肥後国(現・熊本県)から鎌倉まで直訴しに行っています。地図上で道のり確かめると、よほどの不満を抱えていたのだろうと考えられます。

6年担当の先生で
ご回覧ください。

--	--	--	--	--	--



歴史を学ぶ際は、過去の事実としてだけでなく、いかに自分事として考えられるかが大切です。地図帳を使って、なぜ頼朝が政治を行う場所として鎌倉を選んだのかを理解し、自分ならどこを選ぶか考えてみましょう。

君は令和の頼朝だ

●滋賀県 大津市立晴嵐小学校 教諭 池尻知也

問い

地図帳p.102
の鎌倉のようすの
図を見てみよう。
特徴がよく似た場所は、
他にもあるかな。



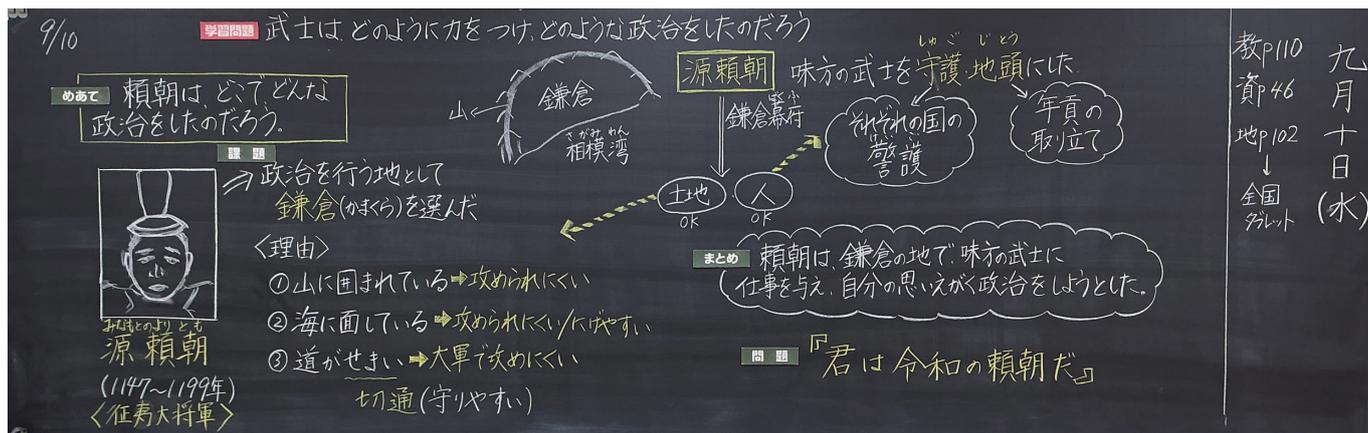
地図帳p.102(令和5年検定済p.109)

1

「武士の政治」での地図活用 —なぜ頼朝は鎌倉を選んだのか—

6年生の「武士の政治」の学習では、源頼朝が鎌倉に幕府を開いた理由を考えさせます。まずは地図帳p.102(令和5年検定済p.109、以下同) 鎌倉の鳥瞰図を見て、地理的に優れている点をあげさせます。子どもたちは、海(相模湾)に面していて周囲を山に囲まれている要塞的な地形に気づくでしょう。また教科書等と併用することで、その政治的位置の重要性にも気づきます。

地図帳を参考にし、教師が黒板に海(または湖)に面する平地を描き、その平地の周りを山地などの標高の高い土地で囲まれた様子を描き示すと、鎌倉と地理的条件が合う都市をより見つけやすくなるでしょう。また一般図において平地は黄色や黄緑で、標高が高い所は黄土色や茶色で示されていることを改めて確認しておくことで、より地図帳の見方に詳しくなります。



鎌倉の地形のようすなどを示した板書

2

君なら幕府をどこに開く ―鎌倉に特徴がよく似た都市を探そう―

次に、「鎌倉と特徴がよく似た都市が他にないだろうか」と問うことで、地図帳をめくりながら探す活動へと進めます。実際に子どもたちが見つけそうな都市としては、p.34(p.36) 鹿児島市、p.36(p.38) 大分市、p.37(p.39) 広島市、p.43(p.45) 敦賀市、p.56(p.62) 上越市、p.67(p.75) 酒田市・鶴岡市、p.66(p.74) 青森市などが予想できます。いずれも都市の一部が海に面しており、その周りを山が囲んでいます。これらの都市は、現在では県庁所在地やその地域の中心都市になっていることも多いです。また、都市の歴史をさかのぼると、城が築かれていたり、有名な武将が治めていたりする時期があることがわかります。地図中に城跡の記号が記された都市もあります。

✓ 広島市・上越市周辺の地図



地図帳(左)p.37(p.39)、(右)p.56(p.62)

事前に教師が地図帳を眺めて、子どもたちが見つけそうな都市を予想することも大切な授業準備の一つです。教師が特徴的な都市を示したり、学校所在地に近い都市を例にあげたりすると、より子どもたちが自分自身で都市を見つけれられるようになるでしょう。

3

歴史をより身近に ―地図帳を活用する意義―

「武士の政治」の学習を教科書で行うだけでなく、地図帳を活用することによって、遠い昔、幕府を開こうとした頼朝が地理的・政治的に鎌倉を選んだ意味が体感できます。こうしたことから、令和の現在においても、「君たちが都市を探した感覚」と「頼朝の感覚」は近いものであると教師が伝える（子どもたちが自ら気づく）ことで、一気に歴史が身近になり、自分事になっていくでしょう。



活動中の児童。自分事と捉えることで地図に向かう集中力が高まる

本記事はアプリ「帝国書院」に掲載した内容に加筆したものです。

アプリ「帝国書院」*では他にもたくさんの地図帳活用例を紹介しています!

*あらかじめ「帝国書院」Webサイトに会員登録が必要です。



帝国書院

アプリ
ダウンロードは
こちらから

App Store



Google Play



今日から使える!

デジタルコンテンツ

帝国書院Webサイト

ニュースで気になった世界の国々を調べてみよう

オリンピック、サッカーワールドカップなど、ニュースでは日々、さまざまな国についての話題が取り上げられています。「どんな国なんだろう?」と思ったときが、学びのチャンス。帝国書院のWebサイトには、**各国の統計ページ**があるので、調べ学習にぜひ活用してみましょ

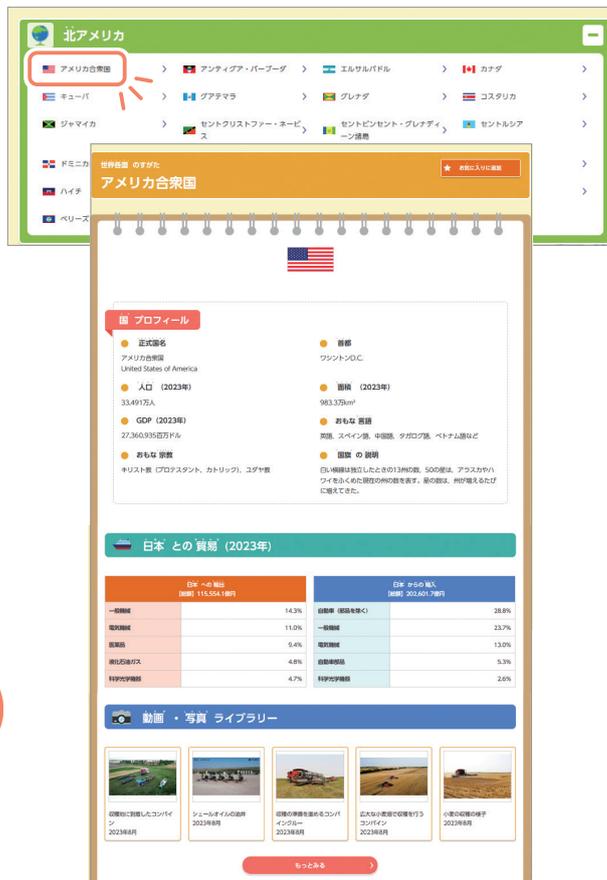
世界の地域から国を選択すると、それぞれの国の人口や面積、宗教などがわかります。国旗はデザインの意味を知ること

出・輸入総額の内訳から、日本とどのようなつながりがあるのかも知ることができます。あまりなじみのない国でも、調べてみて日本と関係があると分かると、興味

社会科以外の教科で知った国についても調べて、国ごとにグループを作ってみて、すきま時間を利用してクラスで紹介し合う取り組みをするのもおすすめです。友達の発表内容からも児童の興味・関心を広げることができるでしょう。3学期の国際の学習にもつなげることが



「統計ページ」から「世界各国のすがた」を選択



世界の国調べに役立つ「世界各国のすがた」はこちらから



地図上から地域を選択し、国一覧から調べたい国を選択できます

わくわく授業づくり! こどもと地図 6年 2026年度前期号

2026年3月13日発行 (No.74) ©Teikoku-Shoin Co.,Ltd.2026

発行所 東京都千代田区 神田神保町3-29 (〒101-0051) 株式会社帝国書院

発行人 守屋 智央 電話 03-3262-4795(代) https://www.teikokushoin.co.jp/

「わくわく授業づくり!こどもと地図」はWebサイトからも読むことができます。

こどもと地図についてのご意見・ご感想はこちらまで



本誌に掲載している地図帳は、平成31年検定済『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』です。

(QRコード使用上の注意) QRコードを読み取って表示されたサイトにアクセスした際には、別途通信料がかかる場合があります。(本誌掲載の他社商標について)

・QRコードは、株式会社デンソーウェブの商標または登録商標です。・その他の会社名および製品名・ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。

教授用資料